

# ニ ュ ー ス 済 生

THE NEWS SAISEI



発行所 社会福祉法人 済生会  
東京都港区三田1-4-28 三田国際ビルディング21F 〒108-0073  
電話 03-3454-3311  
FAX 03-3454-5576  
編集兼発行人 炭谷 茂

https://www.saiseikai.or.jp/

## 高松宮記念基金にご協力ください

令和3年1月～11月分実績

◎本会会員加入状況	40,172人	83.9%
	46,214口	9,242万円
◎外部会員加入状況		
◎一時寄付状況	28件	49万円
		(内、自販機関係 30万円)
◎募金箱		27万円

**皇后陛下お誕生日 御下賜品10施設に**  
皇后陛下は12月9日、58歳のお誕生日を迎えられた。済生会の老人福祉施設に入居中の高齢の方々にお配りするよう、手ぬぐいをいただき10施設に配布した。

**皇后陛下お誕生日 御下賜品10施設に**  
院事務部長 和歌山▽木村泰治・岡山済生会総合病院中央検査科技師長 岡山  
●賞水賞  
佐藤幸子・宇都宮乳児院看護課長 栃木▽行本由美子・愛知済生会リハビリテーション病院看護部長 愛知▽森田正美・中和病院副看護部長 奈良▽大田麻紀・境港総合病院副看護部長 鳥取▽竹井淳子・岡山済生会総合病院副看護部長 岡山▽牛島久美子・熊本病院副看護部長 熊本

**功績 永年勤続は過去最多**  
功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

**名譽1、有功2、功勞3、賞水賞6人**  
功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

**リモート含め39人**  
令和3年度第2回支部長会議が12月9日、本部で開かれた。リモート参加も含め39人が出席した。新任1氏の紹介の後、炭谷茂理事長が基調説明。「済生会のコロナ対応は行政やメディア等から高い評価を得ており、本会の果たすべき役割は増大している。今こそ済生会理念を訴えるべき」と話した。松原了理事はSDGs及びまちづくりの取り組み状況について、志を同じくする団体とさらに連携してソーシャルインクルージョンを推進していくことなどの重要事項を説明した。

新年明けましておめでとうございます。総裁秋篠宮皇嗣殿下のもと、皆様とともに、新しい年を迎えることができました。謹んでお慶び申し上げます。

ミクロン株に置き換わり、第6波が懸念されます。国際関係、政治、経済、文化等あらゆる分野において大きな影響を与えています。具体的には、グローバル化による感染症の常在化、少子超高齢化の加速による高齢の患者や要介護者の急増、経済の低迷や社会の分断等による生活困窮者の増大等が挙げられます。そ

向や法人としての基本的あり方等について検討を行なっています。済生会は、公益と経営の両立を図る組織として、検討会で新しい公的医療機関の役割を明確にし、「公的医療機関の重要性」を強く訴えていきた

れば、積極的に使命感と誇りを持って応じていきたいと考えています。経営面では、コロナ関連補助金により病院全体では赤字を確保することができましたが、補助金のなかった病院は、患者減少等により苦戦を強いられています。また、訪問介護等福祉事業も利用者の減少等によって経営が厳しくなっており、我々は、終戦時以来の危機的状況にあるという強い認識を持って、ウィズ・ポストコロナ時代における環境の変化に対応して参ります。

本年2月26、27日に兵庫県で2年ぶりとなる第74回済生会学会、令和3年度済生会総会が開催されます。総会では、創立110周年の記念式典も行なわれ、本会事業の発展に功績のあった功勞者の特別表彰を行なう予定です。また、110周年記念誌の編集事業も行なっており、式典の模様等を織り込んで5月30日には発行できるような作業を進めています。

私は、新しい年を迎え、済生会の創立の精神の下、理事長として本会の発展のため全身全霊で尽くす所存ですので、ご指導ご協力をよろしくお願い申し上げます。

皆様の健康とご多幸をお祈り申し上げ、新年のご挨拶といたします。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

## 新年のご挨拶



理事長 炭谷 茂

# 理念・使命にもとづき、全国に遍くサービスを

ていただき、患者の対応に当たる全国の医療従事者に対し労いと激励の言葉を賜りました。改めて感謝申し上げます。

本会の役職員の皆様には、コロナ禍の中、日々本会の使命達成にご尽力いただいております。ことに改めて敬意を表し、感謝申し上げます。

ここで、済生会は昨年、創立110年を迎えたのを機に、長期的な活動目標やポストコロナの時代にふさわしい理念、組織体制等を定める一支部末設置県解消等済生会の基本的あり方に関する検討会を設置しました。本

理念や使命にもとづき、全国に遍く支援を行なっていくために支部未設置県への支部設置(復活)を含め、社会の変化に応じた今後の本会事業の方

果は、地域から要請があ

り、本会の理念や使命にもとづき、全国に遍く支援を行なっていくために支部未設置県への支部設置(復活)を含め、社会の変化に応じた今後の本会事業の方

り、本会の理念や使命にもとづき、全国に遍く支援を行なっていくために支部未設置県への支部設置(復活)を含め、社会の変化に応じた今後の本会事業の方

り、本会の理念や使命にもとづき、全国に遍く支援を行なっていくために支部未設置県への支部設置(復活)を含め、社会の変化に応じた今後の本会事業の方

り、本会の理念や使命にもとづき、全国に遍く支援を行なっていくために支部未設置県への支部設置(復活)を含め、社会の変化に応じた今後の本会事業の方

り、本会の理念や使命にもとづき、全国に遍く支援を行なっていくために支部未設置県への支部設置(復活)を含め、社会の変化に応じた今後の本会事業の方

## 公的医療機関の役割はあり方地域ニーズへ対応は

第3回支部未設置県解消等済生会の基本的あり方に関する検討会が12月1日に本部で開かれた。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。



功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

功績調査委員会が11月19日、本部で開かれ支部から内申のあった令和3年度の功績及び永年勤続者、並びに済生会創立110周年特別表彰を審議。合計2797人の被表彰者が決まった。

**寄贈**  
東京都済生会 出光正道殿 300万円  
(中央病院へ)  
静岡県済生会 小野田孝男殿 54万円  
(川奈臨海学園へ)



# 南海トラフ沖地震を想定 中四国ブロックで対応訓練

病院と福祉施設が合同で行なうブロック単位の災害時対応訓練が11月27日、岡山済生会総合病院で開かれ、31施設から



ら病院長・施設長を中心に50人が参加した。200mでの訓練プログラムには9施設14人が参加した。

近畿ブロック(大阪・中津病院)、関東ブロック(東京・中央病院)に続く今回の訓練は災害医療の先駆けである若手医

科大学と結ぶ「災害時医療・福祉分野の訓練等に関する協定書」に基づき同大学・災害時地域医療教育センターの全面協力を

受け実施した。1日目は塩出純二院長らの挨拶に続き、竹田玄一

本部・事業推進課長が済生会の災害救援活動を説明。若手医科大学の眞瀬智彦教授が「災害医学概論」を、(岡山)特養

# 富田林病院が完成 南河内医療圏の中核として

〈大阪〉富田林病院が平成31年1月の新病院建設着工から3年を経てグラ

260床の病院として大阪府の南河内医療圏における中核病院として新たなスタートを切った。11月27日に行なわれた

## 新任施設長の抱負

富島総合病院



星野 豊

昭和33年生まれ。富島県出身。60年富島県立医科大学医学部卒、同大学第一外科入局。国立がんセンター中央病院、富島県立医科大学附属病院を経て平成19年10月済生

会富島総合病院外科医長。令和1年統括診療部部長。2年副院長兼統括診療部長。3年11月院長に就任。一当院は、令和1年9月に立ち上げた地域包括ケア病棟を含め、ケアミックス型病院として、急性期から慢性期まで一貫した診療を提供しています。今後も、安心・安全で適正・的確な医療を目指します



竣工式・開院式には、炭谷茂理理事長、松原了本部長、大阪府済生会の岡上文武部長ら約60人が参加。岡上支部長は、「新病院では環境変化や地域課題に対応していくことも患者ファーストを掲げ、患者さんの視点に立ったきめ細かな医療サービスを提供したい」と決意表明。炭谷茂理理事長は、「南河内医療圏における中核病院としてこれまで以上に地域の皆さまから信頼される病院となることを確信し、医療と福祉の両面の貢献を期待している」と挨拶した。

最後に宮崎俊一院長が「地域の皆さまに医療を通じて安心を提供するというコンセプトを今後も提供してまいります」と述べた。

閉式後は、新病院のフロアウォークやビデオ上映、宮崎院長の開院記念講演、内覧会などが行なわれた。

74人がオンライン参加  
看護師AM研修Ⅳ  
アドバンス・マネジメント研修Ⅳが11月17、19日に本部で開かれ、74施設(重中心含む)74人が

医師臨床研修専門小委員会が12月2日、本部で開かれ、全国済生会臨床研修指導医のためのワークショップ(SWS)が実施された。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

参加者からは、災害発生時の初動対応の重要性をよく理解できたという意見や、施設内のマニュアル見直しや職員への訓練につなげたいという声があった。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

午後からは、「看護補助者を定着させるにはどうするか」を明日からできること」をテーマにグループワークを実施。藤原氏と氏家氏からは、「グループで話し合ったことを明日からすぐに自施設で活かして欲しい」と参加者にエールを送った。

保険は冒険から生まれた。  
To Be a Good Company  
東京海上日動

「あした」は、ナニイロ？  
鹿島のしごと。  
それは「あした」をつくること。  
人と自然と向き合って、  
よりよい毎日をつないでいくこと。  
暮らしを描く、ものづくり。  
無限の創造力で、彩り豊かな未来へ。  
100年をつくる会社  
鹿島